

学校だより 10月号

発行日 令和7年10月1日
北の台中学校長

学校教育目標 「美しい人」
重点目標 「自分で考え自分で決める」～ウェルビーイングの向上を目指して～

とうかした

灯火親しむべし 韓愈

秋の夜は灯火の下で読書をするのにふさわしい。

768～824。中唐の詩人・文章家。河陽（河南省孟州市）の人。

朝夕がめっきり涼しくなってきました。

9月29日（月）には第43回合唱祭が開催されました。2学期が始まってすぐに練習をはじめ早4週間、それぞれのクラスの想いが歌声になってオーエンス文化会館大ホールいっぱいに広がりました。4週間の取り組みはどうだったでしょうか。自分たちで考え、決める活動はできたでしょうか。

さて、標記の漢詩は8世紀に活躍した詩人、韓愈（かんゆ）によって詠まれました。詩のタイトルは「符読書城南詩」。学問の重要性を強調しています。日本では、読書といえば秋、というイメージがありますが、もともとは、この漢詩からきたそうです。また毎年10月から11月にかけて「読書週間」がありますし、暑い時期が落ち着いて、本を開こうという気持ちにもなる季節です。



読書をすると言語の力や読む力を習得

することができます。また、想像力を育成したり、異なる世界と出会ったり、新たな知識を得ることができます。

本は文字だけ、もしくは文字と絵だけで展開する限られたメディアといえます。動きも音などの刺激もなく、読んでもらったり、自分で読んだりして脳内でイメージするしかないのです。そのことが、若い皆さんにとって大きな意義をもつのです。



学校図書館の様子

中学校では、「朝の読書」が行われています。朝のホームルーム前の10分間はお気に入りの本に浸る時間です。この10分間は担任の先生も持参した本を開きます。学校で行われるこの活動がユニークなのは、「先生も生徒も同じ空間で本を読む」ということなのです。読書は一人でするものです。でも、一人で静かに読むだけでは育たない「読む力」や「読む楽しさ」を育成できるのが教室での読書なのです。

毎日開館している学校図書館も大変魅力的に整備されています。季節ごとのレイアウトやイベントはもちろんのこと、皆さんが手に取りやすい本を購入しています。学校図書館で昼休みや放課後を過ごすことを楽しみにしている人たちも沢山いるのもうなずけます。

ある大学の先生と話しをしていた時に、大学生の読書についての話題になりました。先生曰く、大学生に読書体験について尋ねると、本の記憶と共にその場にいた人の存在が熱く語られるというのです。読書は本そのものの価値だけではなく、人との関わりの中で育っていくものだとその先生は話してくださいました。

中学生の皆さん、過ごしやすい季節がやってきました。本を片手に「今から楽しめる読書」を満喫しませんか。



令和 7 年度 10 月行事予定

日	曜	校内行事	清掃
1	水	学習会	
2	木	中間テスト エポック出前授業	
3	金	中間テスト	○
4	土	PTA 役員・運営委員会	
5	日		
6	月	朝会（朝会日課で5校時も45分） 体育祭特別時間割開始	
7	火	道徳授業公開（B日課5校時目だけ50分）	○
8	水		
9	木	専門委員会(⑦後期開始)	
10	金	1 年懇談会、 2・3 年進路説明会	○
11	土		
12	日		
13	月	スポーツの日	
14	火	市教育委員会指導訪問	○
15	水		
16	木	朝のあいさつ運動	
17	金	朝のあいさつ運動	○
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		○
22	水	体育祭予行	
23	木	体育祭予行予備日	
24	金	体育祭準備	○
25	土	第45回体育祭	
26	日		
27	月	体育祭の振替休日	
28	火	教育相談①	○
29	水	教育相談②	
30	木	教育相談③	
31	金	3 学年実力テスト 教育相談④	○

授業日数 22 日

最終下校 10 月 17:00